

11ときひがの子

校長だより
令和元年
11月1日
第24号

今日から11月

好天に恵まれた今年の学芸会は、保護者・地域・ご来賓の皆様の温かいご声援とご協力により、無事に終わることができました。これも皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。



さて、今日から11月（霜月）で、いろいろな行事があります。文化的な面では、6年生の修学旅行（5日・6日）、5年生の社会見学（5日）、秋の果実読書週間（5日～15日）、岡崎のハーモニー（16日）。運動的な面では、かけ足訓練（18日～12月3日）、学区歩け歩け（30日）。その他、新入生の説明会・交流会（20日）、常東ランド清掃など、校内や学区等で多くの行事があります。

日々の学習はとても大切ですが、こうした行事も学芸会と同様に子供たちが、表現したり、考えたり、判断したりする力を養う上でとても大切な行事であると思います。

本校は、地域や保護者の皆さんが学校にとっても協力的で、さまざまな校内外の行事がとてもスムーズに運営することができます。本当にありがとうございます。

バザーでのご協力に感謝！

P T A主催のバザーでは、地域の皆様のご協力もあり、大盛況で昨年に増して売り上げを伸ばすことができました。詳細については後日学校だよりなどを通してご報告をさせていただきますが、子供たちのために活用させていただきます。ありがとうございました。

今回も多くの学校に関係のある業者の方々からもご協賛をいただきましたので、皆様にご紹介させていただきます。たくさん品物をご協賛くださりありがとうございました。

ご協賛いただいたお店など ※紙面の都合上、敬称は省かせていただきます

写真の店あさひ ・(有) 郁文館 ・コンドースポーツ ・(株) 記念品のやまもと
中日新聞山本新聞店・文溪堂加藤丈青・テムコ・名鉄観光岡崎支店・教育産業
(株) 正文館書店・(有) マコト商会・(株) フットジョグ・ケンテック・岡崎牧場
印刷のすすき・花職人・河合写真工房・味彩・紳士服のアオキ岡崎鴨田店・栗田商会
けやき書房・豊和商会・素染紙土・中根 茂・JA岡崎店・大柳郵便局

※**ご連絡**：忘れ物に心当たりありませんか ※連絡(0564-46-2108 常磐東小学校まで)

学芸会の時に使われていた敷物（しきもの）。
大きさは3畳ほど。色は緑色の模様。
メーカーは、「コールマン」



忘れ物：敷物

柔軟性と執着心でノーベル賞！

本年度のノーベル化学賞に吉野彰氏（神奈川県在住 71 歳）が受賞されました。吉野さんは、愛知県にもゆかりの人で、現在は名城大学教授です。近年毎年、日本人が受賞していますが、吉野さんを含めて日本のノーベル賞受賞者数は 25 名、その内、化学賞は 8 名です。

吉野さんは、日ごろから「研究者には柔軟性と執着心の二つが必要」と述べられており、その二つで「リチウムイオン電池」の発明に尽力されました。現在「リチウムイオン電池」は携帯電話やパソコンなどに用いられています。しかし、以前は、世界中で研究されてきましたが、最後の実用化までいけませんでした。その最後の実用化への鍵となったのが、「電極」を何にするかということでした。吉野さんは、研究を重ねマイナス極に「ポリアセチレン」という電気を通すプラスチックを採用することで充電や放電が可能となり、小型で実用的なリチウムイオン電池が完成したのです。

これからの「リチウムイオン電池」の可能性は、さらに広がり、世界のエネルギーを変える可能性があるそうです。身近なものとして「電気自動車 (EV)」だそうです。原子力に変わるための自然エネルギー（風力・太陽光）に欠かせないのは、蓄電システムです。そのためには、リチウム電池が最適となるそうです。そして、自然環境破壊や温暖化にも貢献していき、将来がとても楽しみな発明だと言われています。

最後まであきらめない心！

台風 19 号によって日本中の国民が打ちひしがれている中、希望と勇気を与えてくれたのは、ラグビーワールドカップ日本大会です。1987 年の第 1 回大会から 9 年連続で出場してきた日本。しかし、これまで勝利すら困難で 2015 年の前大会では、南アフリカに勝利し予選で 3 勝してもベスト 8 には届きませんでした。今回、予選でロシア・アイルランド・サモア・スコットランドに勝利し、全勝で予選を通過して、8 強に肩を並べることができました。そして、日本のラグビー史を塗り替える快挙を達成することができました。

原動力は「最後まであきらめない心」だそうです。何があっても、どんな状況でも「最後まであきらめない心」を持ち続けたそうです。そのために、「世界一の練習量」を実施したそうです。4 年間苦しい練習に耐え、自分たちが勝って成果を残すことを目標にがんばり抜いたそうです。

その成果の一つが、「オフロードパス」です。タックルを受けながらパスをするプレーで、ボールを前に落とすミスが起こりやすいが、成功すれば攻撃の流れを加速させることができる。このパスによって日本は、前大会の宿敵スコットランド 28-21 で打ち破ることができたのです。

二つめは、「スクラム」です。体が小さくいつも力に圧倒されていた日本選手。過去の対戦が 9 戦全敗となっていた世界ランキング 2 位のアイルランドを 19-12 で破ったのは、日本のスクラムが勝利をたぐり寄せたのです。今回の代表には田村優選手がいます。岡崎市出身の田村優選手が司令塔として、世界一のキッカーとして、活躍していました。



ノーベル賞 吉野彰氏



田村 優選手